

*** 2013 年 11 月 10 日千葉県千葉市「サウンドスケープの教室」 ***

社会貢献部会報告

日本サウンドスケープ協会と千葉県立中央博物館の共催で、「サウンドスケープの教室」が 11 月 10 日、千葉県立中央博物館にて開催されました

この一環として、(公社)日本騒音制御工学会は「音ってなんだろう～いろいろな音の体験」のテーマで、実際に、周波数分析器付騒音計を用い、我々の声は、どの位の音の大きさなのか、あるいは、周波数により、どのように聞こえるかなど、体験を主にした教室を開きました。

午前(11:30～12:00)：約 25 名、午後(13:30～14:00)：約 10 名の参加がありました。また、日本サウンドスケープ協会の鳥越先生、大庭先生、船場先生なども見えられました。

参加者は、大人、学生、子供連れ家族と幅広い年齢層で、特に、午前中は大学生の参加が多く、立ち席になるほどでした。

自分の声は何 dB 位になるか、高い周波数帯域では自分の耳がどの程度まで聞こえるかなど、参加した方々は興味を持った様子でした。

なお、本教室は、主に、千葉近郊在住の(公社)日本騒音制御工学会員および同学会社会貢献部会員により実施したものです。



以 上